

## 令和3年犯罪抑止目標等について

### 1 趣旨

県内の犯罪情勢は、平成14年に刑法犯認知件数が約32,000件となり過去最多でしたが、「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり条例の制定(平成15年)とともに、県、市町、事業所などによる県民総ぐるみ運動を推進した結果、刑法犯認知件数は年々減少し、令和2年は6,039件(暫定値)となりました。昭和34年以降、最も少ない件数となりますが、令和2年の目標の6,000件以下は未達となります。

引き続き、県民総ぐるみの運動を推進できるよう、令和2年の犯罪概況等を踏まえ、令和3年の犯罪抑止目標や取組方針を取り決めるものです。

### 2 犯罪抑止目標(案)

#### (1) 令和3年目標

「治安の良さを実感できる社会を目指して！」

～県民の心と力をあわせて！アンダー5,500件～

～特殊詐欺被害80件以下、住宅侵入窃盗被害150件以下～

#### (2) 目標の設定理由

ア 令和2年の犯罪概況 ※件数は以下全て暫定値

・刑法犯認知件数 6,039件

⇒7年連続減少したが、抑止目標6,000件以下は未達成

・特殊詐欺被害 88件

⇒令和2年の144件から大幅に減少し、抑止目標100件以下を達成

・住宅侵入窃盗被害 190件

⇒令和2年の244件から大幅に減少したが、抑止目標100件以下は未達成

イ 犯罪減少率による刑法犯認知件数の算定(アンダー5,500件)

令和2年の犯罪減少率は約10.8%となった。令和2年の刑法犯認知件数6,039件に、現在の犯罪減少率約10%を基準として計算し、抑止目標を5,500件と設定。

ウ 他県との比較

(ア) 人口同規模県(奈良、愛媛、山口、長崎、沖縄)の刑法犯認知件数との比較

滋賀6,039件、奈良5,780件、愛媛6,434件、山口4,137件、長崎2,799件、  
沖縄6,003件

同規模県の中では、滋賀県の刑法犯認知件数は愛媛に次いで多い。

6県の平均値 約5,199件

(イ) 立地環境の近い県(大都市圏に隣接する奈良、栃木、群馬、三重、岐阜)との犯罪率の比較 ※犯罪率 人口1万人に対する刑法犯認知件数

滋賀42.5件、奈良42.7件、栃木46.1件、群馬50.6件、三重47.2件、  
岐阜51.4件

立地環境の近い県の中では滋賀県の犯罪率は最も低い。

6県の平均値 約46.8件

エ 特殊詐欺被害、住宅に侵入する窃盗被害の目標設定

県民の関心が高く、体感治安に影響のある特殊詐欺や住宅に侵入する窃盗被害に関して、具体的な数値目標を設定。

(ア) 特殊詐欺被害

令和3年の目標値は、さらなる減少を目指し、令和2年の88件の約10%減(全刑法犯認知件数の減少率)で計算し、80件以下と設定。

(イ) 住宅侵入窃盗被害

令和2年の住宅侵入窃盗被害は、令和元年の認知件数244件から減少したが、目標は未達となった。過去2年の目標は認知件数から乖離したものであったことから、令和3年の目標は令和2年の190件の約20%の減少を目指し、150件以下と設定。

※ R1 244件、R2 190件

### 3 重点対策の指定

(1) 重点対策

- ア 特殊詐欺被害防止
- イ 子ども・女性対象犯罪被害防止
- ウ 住宅に侵入する窃盗被害防止

(2) 設定理由

ア 特殊詐欺被害防止

被害は減少したが、高齢者を中心に被害が発生している。

※被害件数 88件(前年比△56件)

うち高齢者 60件(約68.2%)

被害額 約1億5,100万円(前年比△約1億9,800万円)

うち高齢者 約1億800万円(約71.5%)

イ 子ども・女性対象犯罪被害防止

県民の関心が高く、体感治安に大きく影響を与える犯罪。

※性犯罪(強制性交等、強制わいせつ、痴漢等)192件(前年比+12件)

前兆事案(声かけ・つきまとい事案) 603件(前年比△186件)

ウ 住宅に侵入する窃盗被害防止(空き巣、忍込み、居空き)

家人が犯人と遭遇して危害を加えられるなど、県民が不安に感じている割合の高い犯罪。

※住宅侵入窃盗 190件(前年比△54件)

うち無施錠 66件(無施錠率 約34.7% 前年比△42件)

### 4 今後のスケジュール

R3. 2. 1 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議総会(採択)